

写真の撮り方についての説明

		ポイント及び注意点	写真枚数	写真のサンプル		
建物出入口	②スロープあり	スロープの傾斜がわかるように	1			
		理由 傾斜によっては介護者が必要				
多目的トイレ	①車いす使用者用トイレ	エントランスまでがフラットな場合は正面ドアを ①ドアの開閉がどんな方式かわかるように ②ドアの下部の状態がわかるように	1~3			
		理由 ①ドアの開閉方式、位置によっては介護者が必要 ②ドアの下部に凹凸または障害物がある場合は介護者が必要				
		エントランスまでフラットでない場合はエントランスまでの状況を	1	  		
		理由 傾斜によっては介護者が必要				
内部の全体の設備がわかるように	1~3	 				
理由 利用できるかどうかの判断材料になる						
一般トイレ	①洋式便座	ドアを開け、ドアの幅と便器の位置がわかるように	1			
		理由 入口の幅と便器の位置がわかると車いす使用者が利用可能の場合もある				
	②手すり付き小便器	手すりと小便器がわかるように	1			
	理由 手すりがあると体を固定できるので使い易い場合がある					
宿泊設備	①車いす使用者対応客室(トイレ・浴室付き)	トイレと浴室の全体がわかるように	2	 		
		理由 どんな設備があるのか、浴槽の高低差が事前にわかると対処ができる				
	③温泉 ④大浴場洗い場まで車いす乗り入れ可	設備の内容(入口の段差、浴槽の高低差、その周りなど)について、写真があると利用できるか検討できる。	適宜	①浴室の入口(ドア、床の部分)が入る全体写真を撮ってください ②浴槽とその周り(浴槽と床との高低差)がわかるように撮ってください		